

彼方【あなた】

校長通信
H29.9.1
Vol.12

【2学期始業式で伝えたかったこと】

二学期の始業式にあたり皆さんに二つのことを質問したいと思います。

学校には様々な目標が設定されています。「学校教育目標は？」「学年や学級目標は？」「二学期の目標は？」「体育祭の目標は？」「部活の目標は？」「進路目標は？」等々です。今あげた目標がどういう内容だったか即答できますか？なかなか難しいですよ。それなのに「なぜいろいろな目標を設定するのでしょうか？」これが一つ目の質問です。二つ目は「目標を実現するためにはどう取り組めばよいでしょうか？」ということなのです。

それでは一つ目の質問について考えてみたいと思います。三年生多くみなさんは、部活動を引退し、卒業後の進路実現に向けた受験モードに突入したところだと思います。でも、まだまだ大会やコンクール、発表会等を目標にして頑張っている人も少なくありませんが、三年生の進路実現を例に考えていきたいと思います。進路実現で最も大切なのが、目標校を決めることです。それもできるだけ早く決めることです。では何故でしょうか？それは目標校が決まっていれば、対策を講じられるからです。目標実現に向けた具体策を考え、取り組むことができるからです。勉強が足りなければ勉強時間を確保し、質を高める方法を具体的に考えて取り組めばよいのです。一日8時間勉強時間を確保した生徒を知っています。

夕方四時半から七時半、夜九時から十一時、朝四時から七時という具合です。一日3時間の運動と2時間の英語の勉強をやり抜いた生徒も知っています。希望校に8回通った生徒も知っています。それぞれ目標校を実際に進学する学校にするために何をすればよいか考えた結果の計画、実行なのです。でも、その取り組みを一人で続けるのはとても大変なことです。そこで必要なのが団体戦です。皆で「みがき合い、支え合う」ことで更なる高みを目指すことができるのです。

「目標」を設定するということは、「目標」そのものに意味があるのではなく、それを実現させようとする「行為」に価値があるのです。仮に結果が出せなかったとしても、そのプロセス（過程）が、自分を大きく成長させてくれるのです。目標を設定することで自分自身を高め、周囲に相乗効果をもたらし、互いの変化（成長）を創り出すことができます。だから「目標設定」に意味が出てくるのです。理解できたでしょうか？

では次の質問です。「設定した目標を実現するためには、どう取り組んだらよいのでしょうか？」

その答えは、それほど難しくありません。私は「笑顔」がキーワードだと思っています。自分の行為の判断基準を、自分自身や周囲の「笑顔」に置き、結果が出せなくてもそれを目指している過程で、「笑顔」を創り出せるかどうか、このことがものすごく大切なのです。

先日開催されたバドミントンの世界選手権で、奥原希望選手が、リオ五輪銀メダルのシンドウ・プサ

ルラを破り、金メダルを獲得しました。そのインタビュウの中で

「きつかったけど楽しかったです。最初は、苦しくて笑顔も作れ

ませんでした。最後は笑って試合ができました。」と答えていました。目標を実現させることは本当にキツイし、大変です。でも、自分がやっていることが少しでも「笑顔」に結びつくのであれば、それは成長という大きな変化を創り出してくれます。

今学期立てた目標を実現させるための取り組みは「笑顔」が想像できるかどうかにかかっています。自分の言動も含め、周囲や自分自身を「笑顔」にできなければ、改善策を考えて再挑戦すべきなのです。

例えば、体育祭での「笑顔」について考えてみます。体育祭を地域に公開している理由は、中学生の一生懸命な姿を見に来てくれた保護者の皆さんや地域の方々が「笑顔」になり、元気をもらえるからなのです。体育祭は中学生ができる地域貢献のひとつなのです。練習も、予行も、本番の競技も、応援も、係の活動も、体育祭に係わるすべてのことを準備段階から皆さんの手で創りあげ、精一杯取り組み、心をひとつにして取り組んで欲しいのです。

また、一学期にいい加減になったり、こじれてしまったたりしたルールや人間関係をもう一度見直すことも「笑顔」を創り出す上でとても大切です。問題から目をそらさずに「笑顔」を創り出せる解決方法を皆で考え、実行して欲しいと思います。

